

COOP-JOSO News Letter

2020年7月3回号 発行/常総生協広報G

2020年度活動テーマ案「JOSO食材でかんたん・うちごはん ～食卓から笑顔あふれる未来へ～」

茨城県南部地域で新たに新型コロナウイルス感染者が報告されました。第2波の感染リスクが高まっていることを認識し、継続的に安心・安全な供給ができるように、引き続きリスク管理の気持ちは緩めず、業務にあたっていきます。

(基本方針)

- 組合員・生産者・職員・関係者の感染リスクの軽減と安全の確保に努め、一丸となって対応を進めます。
- 状況に応じた対策を実施し、食料品・生活必需品を供給する組合員のライフラインとしての役割を果たせるよう、事業継続に努めます。

対応項目	対応内容
全体対応	<ul style="list-style-type: none">● 職務中（内勤・外勤）のマスク着用と外勤者（供給・営業）は消毒スプレーを携帯します。● 電車通勤の職員にはなるべく自家用車通勤or車両の貸出を行い、感染を防ぐようにしていきます。● 緊急重要度が高い事項以外の出張は避けるようにし、WEB会議でできるものに関してはWEB会議にしていきます。● 通常の購入ルートでは、消毒液の購入が困難と思われる為、必要に応じ、各職員・団体に協力要請を行い確保に努めていきます。● セットセンター、供給作業時のマスク着用と手袋の使用をしていきます。● 事務所内の換気、PC・ドアノブ、車両等感染しやすい箇所の定期的な除菌作業。● 可能なセクションの所でのテレワーク、時差出勤対応をしていきます。
供給対応	<p>3月2日より、組合員のみなさまと常総生協職員・関係者の健康に留意し、直接的な対人接触を避ける「非対面配送」を行っていきます</p> <ul style="list-style-type: none">● 配送担当者は組合員さんとなるべく対面しないようにします。● 今まで通り留守の方は留守対応（保冷して）のセットをしてお届けします。● 基本的に玄関等建物内での商品の受け渡し作業は行いません。※身体が不自由な方など個別の対応は担当と組合員さんとのやり取りの中で判断し、対応していきます。● 到着の際はチャイム、インターフォンでお知らせいたします。在宅の方には蓄冷剤・ドライアイス等を抜いて直ぐにお取りいただく前提でお届けします。※箱回収は次週になります。基本その場、その日の回収はしません。● 供給担当者は予防のため、マスク・手袋着用とアルコール等による消毒を行っていきます。<ul style="list-style-type: none">○ (6/12追記事項) これから夏場にかけての気温・湿度の上昇にともない、職員が熱中症となることを防止するため、同乗者がいない車内での運転中や、周囲に人がいない場所や荷台での作業中などにおいては、マスクを外して業務を行うことがあります。 <p>○組合員さんへお願い</p> <ul style="list-style-type: none">● 事前に「注文用紙」と、商品お届け時に使用している空箱が手元にある場合は「空箱」を指定場所に準備してください。● 生協資材（通い箱、オリコン（青いコンテナ）、蓄冷剤、ドライアイス）が不足になる事態が想定できます。翌週に必ずご返却ください。● (6/12変更事項) 品温管理の為、クーラーボックスや買い物かごへの移し替えは原則ご自宅の時のみとし、不在の場合は生協資材を使用した留守セットでお届けさせていただきます。● 対面が必要な場合は、必ずマスク着用の上、距離を保つ様、お願いします。● (6/25追記事項) 新型コロナウイルスに感染された場合は、すぐにご連絡ください<ul style="list-style-type: none">○ 万一、組合員または同居の家族等が「新型コロナウイルス陽性」あるいは「濃厚接触者」となられた場合は、すぐにご連絡をお願いします。個人情報保護を徹底し、個別事情に合わせて最善の方法を検討致します。
組合員活動	<ul style="list-style-type: none">● オンラインの活用や、組合員活動室の人数制限を設けながら、できるところから活動を再開させています。体調不良の方の参加はご遠慮ください。

組合員の皆さまおよび職員の感染症予防と拡散防止のための対応となります。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

石岡鈴木牧場牛乳が2周年を迎えました！

2020年7月で石岡鈴木牧場牛乳が2周年を迎えます。2周年を迎えるにあたり代表の鈴木昇さんからのメッセージを頂きました。



これほどたくさんの組合員の皆さんが鈴木牧場の牛乳を飲んでくれるとは！家族一同ただの驚きと感激で一杯です。牛乳工房を立ち上げた時には想像できない事でした。

常総生協と21年前に出会い、産地交流会を重ねているうちに、「鈴木牧場の牛乳を飲みたい！」とずっと言われてきました。たくさんの組合員の皆さんが牧場へ足を運ばれ、「堆肥→土→草→牛→牛乳」の良い循環の話に耳を傾け、視・聴・嗅(きゅう)・味・触の五つの感覚でそれを感じ取ってくれ(堆肥の香り、牧草の

香り、甘さ、牧場の様子)、牧場のやり方に大いに納得して帰られました。

今から30年前に出会った熊谷先生(酪農コンサルタント)の教え

『良い堆肥、土をつくれれば、牛は健康になり、飼い主も牛の病気に悩まされずに、健やかに過ごせる』

簡単ではありませんでしたが、それを続けて結果を出したことで、酪農(人生)が充実した楽しい時間になりました。更に顔の見える高感度の消費者(=常総生協の組合員さん)が近くにたくさんいた事が、私たちの励みになったことは言うまでもありません。

今の酪農は効率化、高淡乳、規模拡大が進み、県内でも企業が運営する1,000頭、2,000頭のギガファームと言われる巨大ミルクファクトリーがあります。個人でも100頭、200頭、300頭と拡大しています。

鈴木牧場は今の規模(牛の数)30頭を変えることなく、畑の面積を増やして、美味しい草をたくさん食べられるようにして、「人も牛も健やかに」をアイデンティティーとし、次世代、次々世代へと引き継いでいきます。これからもよろしく願い致します。

牧場の交流会が早く実現でき、牧場を五感で感じてもらい、皆さんと会える日を楽しみにしています。

2020年6月24日 石岡鈴木牧場 鈴木昇、ともえ、績(いさお)、美登里、健士



■石岡鈴木牧場牛乳の契約について



鈴木牧場牛乳は契約者のみのお届けとなります。ご希望の方は**下記QRコードよりお申込みください。**(もしくは配達時にメモ下さい)

牛乳工房を立ち上げ、予想を上回る契約本数で1年余りで増設をおこない、現在その増設分も足りないほど、登録者数が上限に達しつつあります。登録をおこなってもお待ちいただく場合がございます。御了承ください。

※お待ちいただく場合のみ、生協より連絡致します。

石岡鈴木牧場 契約につ



茨城県内 大学生向け食の支援について みなさまから募金ありがとうございました。

この間のコロナ自粛の中、バイト先の休業などで生活がくるしい大学生の生活を少しでも支援をしようと茨城県生協連が中心となって、県内の大学生向けに食支援を行っています。

食料の支援を希望する大学生は1,700名を超え、この学生たちへの食料の支援を5月～7月の間、毎月1回おこなっています。



常総生協ではこの6月には組合員の皆様へ募金を呼びかけ、今回、茨城県の食支援の活動に10万円、フードバンクちばに10万円と計20万円の寄付を行いました。

また、フードバンクちばから食料を譲っていただき、トラック一台分の食料を持ち込みました。

みなさまからの寄付金は、食料品の送付費用（宅急便代）などに充てられます。持ち込んだ食料は1700名の大学生に渡されます。

茨城大学は学校閉鎖中で、大学生協の食堂に支援物資が集められ、食堂の職員の皆さんにより箱詰め作業が行われています。→食料を希望している県内在住の大学生に配達されます。



▽支援活動に参加した常総生協 木内常務理事からの呼びかけ

フードバンクには学生のみならずコロナの影響で失業や収入の減った方から食糧支援の依頼が多く届いているそうです。フードバンクの運営には、食料を送る送料、事務所の家賃などを寄付で賄っており、今回の寄付について大変な感謝を頂きました。食べ物に困らない社会づくりを目指して活動しているフードバンクにも継続的な支援を行っていきたくと考えています。引き続き、募金活動にご協力をお願いします。

常総生協でも引き続き、支援活動を続けてまいります。募金のご協力もお願いいたします。（OCR番号 **473** 一口500円）

※ご家庭で余っている食材（レトルト・インスタント・お米など）がございましたら、生協本部（守谷）と戸頭店にて受け付けております。なお、現在、供給トラックでの食料品の回収はしておりません。持ち込みのみとさせていただきます。

茨城県議会、県民投票条例案を否決

日本原子力発電東海第2原子力発電所（茨城県東海村）再稼働の是非を問う県民投票を巡り、茨城県議会は6月23日の本会議で、条例案を反対多数で否決になりました。過半数を占める自民系会派や公明党などの反対がありました。18日の防災環境産業委員会でも否決されています。

上記を受けて、いばらき県民投票の会は緊急声明：[【議会制民主主義の根幹を揺るがす問題が生じています】](#)と、[【継続審議の要望書】](#)および[【意見表明への所感】](#)を公開しています。今回の審議における問題は、これからわかりやすくまとめ、広く発信していく機会として7月5日、[緊急シンポジウムを開催することも決定しました。](#)

《緊急シンポジウム概要》

日時：7月5日（日）14:00～16:00

会場：[ザ・ヒロサワ・シティ会館](#)（茨城県立県民文化センター）小ホール

定員：ホール130名、オンライン100名

司会：吉田勉・常磐大学教授（地方自治論・行政法学）

★会場参加の方へ：参加は無料ですが、新型コロナウイルス感染症対策の関係でホールの定員が半分以下となっています。定員になり次第締め切らせていただきますので、お早めに[こちら](#)（WEB）から事前のお申込みをお願いします。

★オンライン視聴の方へ：PC・タブレット・スマートフォンでご覧いただけます。視聴は無料ですが、[こちら](#)（WEB）から事前のお申込みをお願いします。ご登録のメールアドレスに、zoom会議室のURLとパスワードをお送りします。

県民投票フェス vol.19 6月議会を振り返る



※WEBフォームは左記のQRコードからも読み取れます。→

※WEB検索は「いばらき県民投票の会」で検索し、ホームページからフォームをクリックしてください。



「ひのとり」乗車編



あべchan.com 6月号

何と3月25日(水)に奇跡の有給を得る。平日に出来る事をやると決めた。乗り鉄さんまの日となった。デビューしたばかりの近鉄特急「ひのとり」。そのプレミアムシートは本当にプレミアムチケット。平日なら簡単にゲットできるだろうと思ったら…ラスト1枚でした。私の鉄分補給の旅が始まった。始発のTX→新幹線で新大阪へ。在来線で大阪難波に到着。10時発の「ひのとり」で名古屋へ行く。すでにホームに入線している「ひのとり」には写真を撮る人の群れ。深い赤色。フェラーリとiiiシァ専用モビルスーツとiii赤iiボティのがこiiiことよ! iiぎ乗車。プレミアムシートはまるで社長の椅子のような豪華さ。電動リクライニングシートにヒーターまで付いている。鉄ちゃんにとっては子守唄のジョイント音も静か過ぎて眠れない。いや眠りたくないのだ。車内は修学旅行のようにきゅきゅびしている。私と同じ列。2+1列の2の方に母とその娘がテーブルを出したり、しまたり、きゅきゅびしている。娘は多分中学生ぐらいだが一眠して外でも車内でも撮りまくり。撮り鉄の鉄子とみた。大和八木を過ぎた辺りから日々の疲れがらうっかり眠ってしまう。…「あーっかわiiiーっ」という奇声で目を酉星ます。からの一眠しての連射音。お前は週刊文春かワラデーかと思いつつ何なのが見てみる。車内前方に次の停車駅が表示されていた。ふらがなで「つ」。その横にハンケルで「M」。これはかわいい? でも津って三重県の中でも目立たない。iiっそハンケル表記の方が目立ちそう。彩の国埼玉みたく「笑みの国津M」。これじゃブータンみたいですね。ちなみにスマホで「つ」を変換していくと最終的にハンケルの「M」に辿り着きます。…いや辿り着けません。天国から地獄、希望と絶望、名古屋から岐阜へ。次回 岐阜編。